

会 議 録

会議の名称	令和3年度第2回天草市総合政策審議会
開催日時	令和3年10月29日(金) 13:30~16:20
開催場所	天草市役所 2階 庁議室
議長名	玉村 雅敏
出席者氏名	玉村会長、荒木委員、江良委員、小川委員、小田委員、木村委員、黒沢委員、澤田委員、西村委員、森本委員、山下委員
欠席者氏名	田中副会長
会議次第	1 開 会 2 諮 問（第3次天草市総合計画策定について） 3 市長あいさつ 4 会長あいさつ 5 報 告 (1) 令和3年度第1回天草市総合政策審議会の会議録について (2) 第1回天草市総合政策審議会での意見に対する今後の取り組み方針について 6 議 題 (1) 第2次総合計画に係る関連計画の策定及び改訂状況について (2) 第3次天草市総合計画の策定について 7 その他 (1) 天草市行政経営改革大綱について 8 閉 会
審 議 内 容	
<p>議題（1）第2次総合計画に係る関連計画の策定及び改訂状況について</p> <p>○事務局より説明</p> <p>（会長）天草市は2市8町が合併し、当時は92個と多くの計画がありました。第2次総合計画を策定する中で、分野別計画と総合計画を連動させることで、類似計画をまとめ、減らすことができました。それは、各計画の内容と総合計画の整合がとれる仕組みを考えたからです。計画期間についても、法定計画で期間が決まっているものもありますが、できる限り総合計画の期間に揃えましようとなっています。このため、今回のように分野別計画を改定、また策定するときには、総合計画の見直しを含め確認することとなっています。今回は、分野別計画の改定内容等を含め、総合計画の改定の有無についても事務局で事前に確認いただき、その結果を資料として報告されております。委員の皆様にはこの仕組みをご理解いただき、質問があればお願いします。</p> <p>（委員）地域情報化計画と天草市DX推進計画とありますが、地域情報化計画はハードとしての位置付けであり、DX推進計画は国からの施策としての考え方で、あえて分けて策定をされたのか。</p>	

(会長) 先ほど話をしましたとおり、このことは重要な観点であり、天草市では類似するような計画は統合するとように進めてきています。事務局から説明をお願いします。

(事務局) 地域情報化計画は、委員からお話がありましたとおり主にハード面を重視したものを掲載している計画となっています。今回策定を予定しているDX推進計画では、行政サービスの集約化、簡略化を図るため、行政が行っていくための計画と理解していただければと思います。言い換えると、行政が効率的なサービスの向上を進めていくための計画となります。

(委員) DX推進計画は、これまで総合計画の分野別計画になかったものとして位置付けられるのであれば、今後、総合計画の改定も含め検討をされていくのか。

(事務局) 本市におけるDXの推進については、現在、第2次天草市総合計画の中では、電子自治体の推進で進めているところです。今後、DX推進計画の策定を進めていく中で、第2次総合計画期間となる残りの1年間でどこまで取り組んでいくのかなども踏まえ、基本計画の改定の必要性なども含め現在検討を行っています。

(会長) DXでの一つの観点として、行政の在り方、進め方をトランスフォーメーションして、行革のテーマとしての考えもあると思います。DX計画として進めていくことは、天草市の行政経営改革大綱の一躍も担うものにもなると思います。そのことを考えると、行政経営改革大綱の中に含めることも検討していただきたい。

議題(2) 第3次天草市総合計画の策定について

○事務局より説明

(委員) 第2次総合計画の良かったところ、悪かったところの洗い出しをしなければ、第3次総合計画での議論は深まらないと思っています。策定までのスケジュールでは大枠を示されたと思いますが、今後、第2次の現状が分かる物差しや判断することができる指標的なもの、考え方は出すことができないのか。

(事務局) 第2次総合計画では、トータルシステムにより、常に毎年度評価を行っています。前回の7月で第1回審議会において環境指標、成果指標の状況を説明させていただき、委員の皆様から意見をいただきました。この説明では、第2次総合計画の指標に基づく指標の評価にあわせ、今後取り組んでいくことにつきましても説明を行い、委員の皆様からご意見をいただいているところです。第3次計画の策定を進めていく中では、この評価結果も含め、今後資料として皆さんにお示ししていきたいと考えております。

(会長) 第2次総合計画の状況のみで、第3次計画を考えることも大切だと思います。この資料では第2次総合計画をどう見るのかが見えにくかったかもしれません。天草市の場合、毎年総合計画の目標の現状を確認し、このことについてどのように改善を行っていくことまでを含め審議会へ示していただいています。第2次総合計画では、令和4年度末までに目指す指標数値を見据えて現在は取り組んできて

いるところですが、実態として目標までどうしても達成できないということもあると思います。その中で、どのような努力をして、なぜできていないのかを確認し、どうしたらできるのか考えていくことが必要です。行政だけでなく、委員皆様のご意見も必要と思います。また、できていないものだけでなく、できていることでも、なぜできたのか検証することも必要です。事務局として、スケジュール的には大丈夫ですか。

(事務局) 行政では、年度別の予算編成を行っております。このため、3月から6月にかけて内部評価を行っております。市民アンケートにつきましては、先日発送を行い、12月末までにはとりまとめを行い、1月には市民アンケートの結果も出てきます。このアンケート結果が多くの環境指標の指標となっております。3月までには環境指標となっている数値はほぼ出てくることとなります。その結果に基づき内部評価を行いますので、次年度につきましては、これまでより若干早めて評価を行い、審議会において審議していただくことも想定しております。

(委員) 第3次総合計画を検討していく中で、今日がスタートラインだと思います。総合計画には、基本構想、基本計画、実施計画とありますが、基本構想は市長が変わられても変わらないものなのか。市長はマニフェスト等を掲げ、市長へ選ばれたと思います。これから審議会の中でいろいろな観点を含め決定していくと思います。市の方向性として、総合計画の基本構想は最重要なものになっていると思っています。市長とのこの総合計画の基本構想との距離感を教えてもらえればと思います。

(事務局) 基本構想は、まちづくりの将来像などを掲げたものと考えております。このため、委員からご質問がありました市長のマニフェストなどにつきましては、基本構想の部分ではなく、基本計画の部分として取り組んでいくものと考えています。

(委員) 基本構想は、市長が変わられても変わらないものと理解してよろしいのですね。はっきりしました。その視点を持って委員はまちのあるべき姿を審議していきたいと思います。

(会長) 市長と議会、どちらも市民の代表です。天草市の場合、議会としても総合計画の議決を行うこととなっております。議会には市長が議案として提出するものとなっております。天草市ではないとは思いますが、今の天草市の制度では、市長が総合計画を議会に出さないということもできます。議会が議決したいが議案として提出しないとできないという事です。総合計画を今後どのように位置付けるのか以前から検討してもらいたい項目でもあります。

(委員) 委員として今回が2回目の参加となります。しかし、初めて聞くような言葉を聞きながら進んでいて、分からないまま進んでいるところもあります。どこに注目して話を聞いて、どのようなところに意見をすることが市のためになるのかと考えていたところです。参加する中で、事前にどのような意見をいただきたいなどいただけると、いい議論ができると思ったところです。例えば、今回は、今後第

3次の計画を策定していく中で説明された方針を頭に入れてほしいということなのか、計画を立てていく中での策定方針を変える必要があり、そのことも含め議論してほしいのかなど、事前にいただければと議論がしやすいと感じましたところ です。

(事務局) 行政用語を使った説明で、委員皆様へ分かりにくい説明となっているところもあり大変申し訳ありません。今後は、事前にどのようなところに視点をおき審議をお願いしたいというものを出していきたいと思います。今回示しました第3次天草市総合計画の策定方針につきましては、市での考えを示したものになります。今後は、この策定方針に基づき計画を作成していきますが、委員皆様からのご意見をいただきながら計画は策定していきたいと考えています。今後審議を進めていく中でぜひいろいろなご意見を賜れればと思います。

(会長) ぜひ事前にそのようなものを作成いただければ、委員皆様もご理解いただき進めていただけるとと思いますので、よろしくをお願いします。

(委員) 今回の策定方針の中での7つの視点にグローバル化の視点を含めてもらえればと考えたところです。天草市には、現在、多くの外国人の方も住まれています。この視点も大切だと思います。思い付きですが、委員へ宿題を出してもらえば考えてもきますし、毎回このような考え方を示していただければ、短い時間で密度の濃い審議ができると思いますので。

(会長) 今回の策定方針の説明は、大きな部分について説明いただいたと考えております。次回の審議会では、本格的に基本構想の審議に入っていくと思います。その中でグローバル化の話などご意見をいただければいいと思います。今回の説明では、総合計画は三層構造でできていて、基本構想は2030年3月末までの未来の姿を考えましょう。だから基本構想からスタートしていくとの説明だだと思います。将来像や基本理念といった天草の未来の姿をイメージして目指していく。それができたかを測る指標で検証する。まずは、基本構想から検討をはじめましょうということです。その基本構想を実現するために基本計画を前期では3年間と後期では4年間の期間とした考えで進めていくということになります。

(委員) 第2次天草市総合計画(改定版)は素晴らしい計画ですが、一部の人しか知られていません。見られていないし、非常にもったいないと感じています。次の第3次総合計画は、ぜひ身近な総合計画としてほしい。協働という言葉も入っていませんし、市民と距離が近い計画としてもらいたい。一人ひとりに目につくようにもしてほしい。

(事務局) 総合計画を市民の皆様へどのように伝えていくのかが一番重要と思っています。そのことがないと協働にもつながらないと思います。第3次総合計画では、自助・公助・共助の視点も取り入れていきたいと考えております。市長も自分ごととして考えてほしいとも言われています。これはまだ案として考えているところですが、1人でできることは何か。10人でならできることは何か。100人でならできることは何か。行政と一緒に何ができるのかなどわかりやすいイメ

ージで市民の皆様へ伝えていければと考えています。市民の皆様へ何らかの形で理解できるような伝え方を考えていきたいと思っておりますので、委員皆様からもご意見をいただければと思っております。

(委員) 人口が具体的に 82,000 人から 76,000 人と年間 1,200 人が減っています。これだけ減ってきている中で、またコロナなども考えた中で、なぜ期間を 8 年間というスパンで考えるのか教えてほしい。

(事務局) 基本構想につきましては、他の自治体では 10 年間のところもありますが、一般的には市長の任期に合わせ、8 年間で設定する自治体が多いところです。今回の第 3 次天草市総合計画では、計画期間を 7 年間と考えておりますが、社会情勢など総合計画へ大きな影響が出てきたる事項が生じた時には見直しを行い、計画を改定することを考えています。

(委員) 第 2 次天草市総合計画では、「人が輝き活力ある」のいうキャッチコピーがありますが、変えるのか。

(会長) 本日、この審議会に第 3 次総合計画の策定について諮問を受けましたので、今後の審議会の場で考えていくこととなります。この部分は大きな理念となっていくところだと思います。これからもずっと考えていくテーマであり、実現していき、それを具体化していくという重要な考えにもつながっていきます。

この他にも分からないことがありましたら適宜お尋ねいただければと思います。

以上